会議録要旨

(1) 会議の名称	令和６年度　第１回スクールランチ運営監理委員会
(2) 開催日時	令和６年７月１２日（金曜日） １５時００分～１６時３０分
(3) 開催場所	越前市役所５階　教育委員会室
(4) 出席委員氏名	藤丸陽子委員、武田尚美委員、山岸祝子委員、栗田珠恵委員、松田祐子委員、上嶋友美委員、土井内真実優委員、三田村育代委員、飛田陽子委員
(5) 欠席委員氏名	土田恭子委員、松谷奈央委員
(6) 出席所管課職員職氏名	教育長　澤崎秀之、　教育振興課　課長　林亜希子、 学校教育指導室長　朝倉匡哉、副課長　岩端麻紀、 参事　西田千鶴、主幹　佐々木智子、主幹　髙橋文恵
(7) 会議議題	スクールランチの検証および課題について
(8) 傍聴者の数	０人
(9) 会議資料の名称	―
(10) 会議の内容の要旨	○スクールランチ令和６年度１学期の評価を行い、概ね適切の評価であった。スクールランチの現状から課題を協議した。 ・今年度１学期は、喫食率の停滞、残食量特にボックスメニューの残食量が多くみられている。主食の白ごはんや副菜の野菜料理を残す傾向がある。 ・毎年６月の食育月間に設けられているスクールランチデーでは、「減塩について学ぼう！」をテーマに設定し、各学校で様々な取り組みが行われた。 ・給食費については、世界経済情勢や原油高による価格高騰が続き、これまでの価格で献立内容を維持することが困難になりつつある。 ・衛生管理については、食中毒対策など、引き続き緊張感を持って取り組むことが重要である。 ・ランチルームで提供される AB メニューの喫食率に偏りがあると、列が長くなり、給食時間に間に合わない生徒が出てく

	る。AB メニューの喫食率が偏らないよう、献立作成を行う必要がある。 ・支援システムは、大きなトラブルもなく運用されている。 ・注文・集金について、システム化を求める声があるが、導入及び維持管理の費用が必要になるため、県への重要要望にも公会計化システムの導入支援等をあげている。
(11) その他	―